

2024 年度 PF-UA 学生論文賞募集のご案内

PF ユーザーアソシエーション（以下：PF-UA）は、放射光科学の未来を担う優秀な若手研究者の輩出と、PF を活用している博士課程学生の研究の奨励を目的として、2022 年度より「PF-UA 学生論文賞」を創設しました。本賞は、PF を活用して得られた研究成果を含む論文を広く対象とします。PF における新規の測定法や解析法の開発に貢献した成果はもちろんのこと、既存の測定・解析法を用いて特定の分野で顕著な成果を挙げた研究も対象となります。

つきましては下記のとおり募集致しますので、ご応募下さいませようお願いします。

1. 人数

3 名以内とします。

2. 対象

PF を活用して当該期間（2023 年 12 月～2024 年 12 月）に発表した査読付英文誌（accept 含む）で、原則として応募者が first author であること。応募時点あるいは対象論文投稿時点で、博士課程学生（博士後期課程学生）。

3. 募集期間

2024 年 9 月 15 日（日）～2024 年 12 月 11 日（水）必着

4. 応募方法

別紙の応募用フォーマット（<http://pfwww2.kek.jp/pfua/gaiyo/ronbunyou.htm> よりダウンロード可能）に必要事項を記入のうえ、対象となる論文の電子ファイルと合わせて、下記の応募先にメールにてご送付ください。なお、原則として候補者本人からの自薦のみを受け付けますが、研究指導教員の推薦文（応募論文における当該学生の寄与に関する所見を含む）の提出が必要となります。

5. 応募先

PF-UA 事務局（pfua-office-at-pfiqst.kek.jp）

（-at- を @ にしてお送りください）

※メールの件名を「2024 年度 PF-UA 学生論文賞応募」としてください。

6. 選考・通知方法

PF-UA 幹事会・運営委員会に選考委員会を設け、厳正な審査と選考により、2025 年 1 月中旬に受賞者を決定します。選考結果について、1 月末日までにご登録いただいたメールアドレス宛にご連絡させていただきます。

7. 賞与

賞状および副賞 10 万円を受賞者本人に贈呈いたします。

8. 発表等

2025 年 3 月開催予定の「2024 年度量子ビームサイエンスフェスタ」内の「第 42 回 PF シンポジウム」にて、受賞者名および対象となった論文を発表いたします。同シンポジウムに受賞者本人が参加できる場合には、授賞式および受賞講演を行う予定です。また、「PF ニュース」に対象論文に関する紹介記事の執筆をお願いする場合がございます。

9. 担当

庶務幹事 吉田真明

令和 6 年度第 2 回 PF-UA 幹事会・運営委員会 議事録

日時：令和 6 年 10 月 2 日（水）

15:00 – 16:30（幹事会・運営委員会）

場所：Zoom 会議

出席者：

近藤寛、朝倉清高、阿部善也、雨宮健太、五十嵐教之、植草秀裕、帯名崇、鍵裕之、北島義典、栗栖美菜子、久保友明、小林寿夫、齋藤智彦、篠崎彩子、千田俊哉、高橋真、高橋嘉夫、武市泰男、玉田太郎、田中信忠、手塚泰久、谷田肇、長坂将成、八方直久、彦坂泰正、藤井健太郎、船守展正、森田剛、山本勝宏、吉田真明

委任者：

組頭広志、伏信進矢、山崎信哉、横山英志、横谷明德、米山明男

【定足確認】（吉田 庶務幹事）

【会長挨拶】（近藤 会長）

【所長挨拶】（船守 所長）

【報告事項】

・施設報告（五十嵐 施設長）

PF 施設報告、PF 将来計画について報告した。

・庶務報告（吉田 幹事）

PF-UA 学生論文賞について報告した。

・行事報告（高草木・藤井 幹事）

JSR2025~2027（日本放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム）および 2024 年度量子ビームサイエンスフェスタに関して報告した。

- 広報報告（植草 幹事）
「PF-UA だより」での UG 紹介の状況および PF-UA ホームページの外部サーバー移転の検討について報告した。
- 戦略・将来計画検討報告（横谷・高橋 幹事）
第 6 回フォトンファクトリー計画推進委員会および PF 研究会「放射光 2 ビーム利用と広波長域実験が切り拓く学術フロンティア」について報告した。また、PF-UA が主催する研究会「(仮) BL-12, BL-11 の利用テーマに関するブレインストーミング」の開催を提案した。
- 共同利用報告（米山 幹事）
各 UG の活動報告書と継続申請書兼趣意書の提出状況および位相 CT シンポジウム及び集いの実施について報告した。
- 教育報告（長坂 幹事）
「PF-UA サマースクール」の開催概要と現在の状況を報告した。

【協議事項】

- PF-UA 研究会の検討
新しく立ち上がった 2 波長の BL-12 の共同利用開始と 2 ビーム同時照射をする BL-11 の建設開始にあたり、マルチビーム利用のサイエンスと将来の発展の方向を検討する PF 研究会が開催される（11 月 17, 18 日）ことを踏まえ、そのフォローアップ企画をもう一つの研究会として UA 主催で行う提案があり、開催時期や開催形態などを議論した。
- UG への支援内容
各 UG の活動を活性化するため、予算支援や事務支援の方法について議論し、これまでの PF-UA の UG 支援に関する内規を確認したうえでそれを更新することにした。

【次回日程について】

第 3 回幹事会・運営委員会は 2025 年 1 月を予定